

東山動物実験施設で追加導入された遠隔監視システムの紹介

発表者氏名：森ララミ 技術分野 ：生物・生体 発表形式 ：口頭発表(12pt)

所 属 ：生物・生体技術支援室 実験動物技術グループ(12pt)

共同発表者氏名：(10pt)

伊藤麻里子（生物・生体技術支援室 実験動物技術グループ）

概要(12pt)

東山動物実験施設は名古屋大学で唯一の SPF 環境（Specific Pathogen Free：実験の障害となる特定の病原微生物が存在しないことが保証されている環境）に対応した全学共用施設で、生命医科学研究分野で再現性の高い成果を生み出すために必要な高品質な動物（マウス及びラット）を維持管理する研究基盤施設である。施設では厳格な飼育環境を 24 時間・365 日維持するため、設備や機器の日常点検業務に加え、異常発生時には時間外や休日でも対応を求められる等、設備維持・管理業務に多くの労力を要している。

令和 2 年度文部科学省先端研究設備補助事業で採択された本学課題の一部として、既存の監視システムに新たな機能を追加し、一部遠隔監視できるようにした。その結果、勤務時間外でも職場外から異常を発見し早期対応が出来るようになり、設備維持・管理に掛かる労力の削減につながったので、本発表で紹介する。